

慢性的な肩こり・腰痛はヘルペスが原因でした。

「自分の体と向き合いヘルペス治療 (ヘルペス・糖尿病手記)」

匿名希望 64歳

2016年2月24日

義父の通院にともない一度診ていただこうと受診。当時、体重72kg、HbA1c：7.8。足親指にしびれあり。慢性的な肩こり、腰痛もあった。

初診 平成26年2月23日

漢方薬とベルクスロンの処方と鍼治療を受けた。また、先生のご指導により炭水化物をやめ、蛋白質の多い食事にした。加えて笑顔でできる軽い運動を心掛けた。

平成26年6月29日

HbA1c：6.5、体重62kg。気づけばしびれは感じられない。約9ヶ月間、漢方薬とベルクスロンを服用した。その後体調が良く風邪一つひかなかった。服用を休止してから約15カ月経った時、鼻水と少しセキが一週間続いた後、熱はなく頭左半分のチクチクした痛み、歯茎の腫れと肩こりに悩まされた。

平成28年2月12日

電話にて受診した。一週間分の漢方薬とアシクロビルの処方を受けた。時に松本先生の言葉は「愛の鞭」というか「苦言」であり、「いい年をして心が凹む」。しかしながら素直に受け止め、自身の体に向き合うきっかけとなった。服用して2日目、発熱37度7分。3日目からは平熱36度前後で一週間過ぎた。チクチクも腫れもコリもとれていた。

平成28年2月24日

夜、松本先生から電話をいただいた。「びっくりぽんや」(嬉しかった)。あと一週間分の漢方薬とアシクロビルを処方していただき様子を見ることにした。

まとめ

ヘルペスは見えない。見えないけど先生の処方のおかげで悩まされていたしびれ、痛み、腫れ、コリがとれていった事は確かだ。これからも自身の体の変化に正直に向き合い、食事、運動に気を配り、最善を尽くしても改善しない時はためらうことなく松本先生に勇気を持って電話しよう。

	2014/2/23	2014/6/29
HbA1c	8.2	6.6